

「チョウ」と言えば、優雅に舞うその「姿」や、鱗粉に覆われた色鮮やかな「翅」に目を奪われがちですが、今回は「顔」に注目してみたいと思います。

人の気配に敏感で、近づくとすぐに飛び立ってしまうことが多いのですが、時には「寝ているのでは...？」と思うほど、接写できることもあるのです。

添付しました写真の多くは、カメラのレンズから「チョウ」の顔までがわずか数cm、という超接写に成功したものなのです。

こんなに近づいての写真を見せられたら、せっかくの「美しい蝶」のイメージが台無しになってしまう、とお怒りの方もおられるかも知れませんが...

### 写真 : テングチョウ

ちゃんと花蜜を吸うストロー状の口がありました。  
天狗の鼻状の突起は、下唇のようなものが伸びたものだそうです。

### 写真 : ルリシジミ

眼球以外は長い毛で覆われています。  
触角の縞模様がお洒落ですね。

### 写真 : ナミアゲハ

あまり表情を顔に出さないタイプのように見えますね。

### 写真 : アオスジアゲハ

サングラスをかけたタヌキのように見えませんか？

### 写真 : ベニシジミ

ダイダイ色の翅はよく知っていますが、こんな生意気そうな顔をしていたのですね...

### 写真 : ツマグロヒョウモン

何かとぼけた表情に見えます。  
触角がだらんと垂れ下がらないのが不思議ですね。











